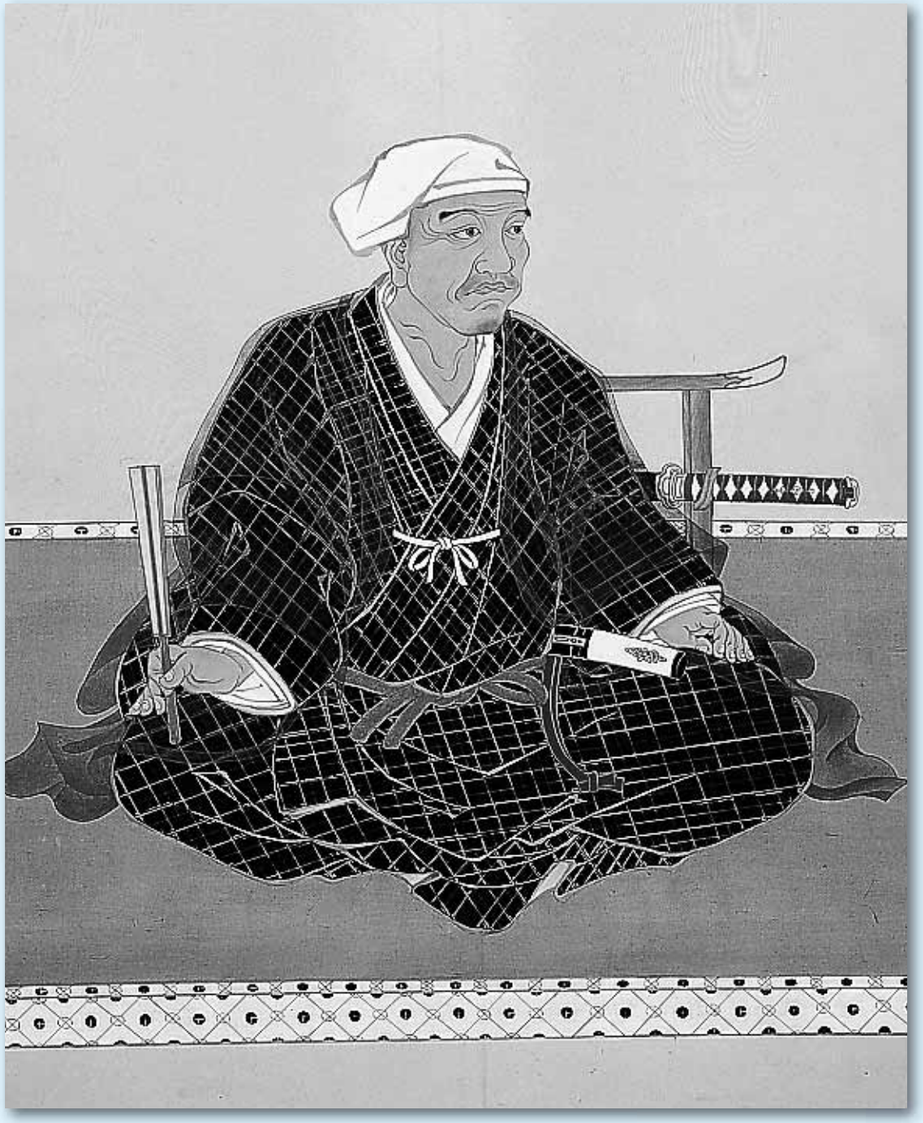
西脇市は黒田官兵衛ゆかりの地
～官兵衛の里・西脇～



黒田如水像／福岡市博物館蔵

豊臣秀吉の天下統一を支えた稀代の軍師 その出自は…黒田庄町黒田

黒田官兵衛は、戦国時代に活躍した武将で、豊臣秀吉の天下統一を支えた稀代の軍師として名が知られています。

その官兵衛を主人公として、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」が、2014年1月から放映されることになっています。

実はこの黒田官兵衛の生まれは、黒田庄町黒田だという説が地元では昔から伝えられており、このたび「北播磨黒田官兵衛生誕地の会」が発足するなど、PR活動が始まっています。

市では、大河ドラマ放映を絶好の機会としてとらえています。多くの方に「官兵衛の里・西脇」に関心を持っていただき、観光地として魅力発信ができるよう、今後、関係者や関係団体などと協力して積極的に広報を行っていきます。また、案内看板の設置やパンフレットの作成、特産品の開発などさまざまな取り組みを実施・支援し、観光客の誘致も進めていきたいと考えています。

そこで、今月は黒田官兵衛とはどんな人物で、どうして西脇市の生まれといえるのかを皆さんにお伝えします。

黒田官兵衛ゆかりの場所

1 **黒田城跡山頂**
黒田氏の城とされる

2 **兵主神社**
羽柴秀吉が戦勝祈願のため黒田官兵衛に奉納させた奉納金で改築されたと伝えられる

3 **荘厳寺本黒田家略系図**
文化６年（1809年）ごろ奉納された系図

4 **松ヶ瀬付近の景観**
城が攻められ逃れる際、溺死した母・於松にちなみ「松ヶ瀬」と名がついたとされる

5 **太閤腰掛石**
黒田庄町岡の極楽寺にあり、羽柴秀吉がこの石に腰掛けて采配したとされる

どうして西脇市が「黒田官兵衛の里」なの!?

黒田官兵衛の生誕地は、定説では姫路市であると言われています。ただ、確たる証拠はなく、貝原益軒（かいばらえきけん）が編さんした「黒田家譜（かふ）」によるところが大きいのです。

黒田氏および黒田官兵衛の西脇市黒田庄町黒田出自説は、昭和47年（1972年）年に旧黒田庄町で刊行された「黒田庄町史」で発表されていますが、当時はあまり注目されませんでした。しかし、平成23年（2011）年、播磨黒田氏研究会が、「播磨古事（はりまこじ）」の研究過程で、黒田庄町黒田の荘厳寺の「荘厳寺本黒田家略系図」に着目し、その研究を深め、黒田氏および黒田官兵衛は黒田庄町黒田の出自であるとの説を主張されました。この研究成果は同研究会において積極的にPRされ、現在注目される説となっています。

左に示す資料は、西脇市が官兵衛ゆかりの里であることを示す一例であり、地元の伝承も含め、ほかにもさまざまな資料が残っています。

根拠となる主な資料

■播磨古事

九州の福岡藩が行った播磨の調査記録。文政12年(1829年)にまとめられたもの

◆「小寺官兵衛祐隆（よしたか）(※黒田官兵衛)は、播磨国多可郡黒田村の産まれである。その村名にちなみ、後に黒田氏に改めて、姫路城を相続して居城する」との記述がある。

◆「多田の古城は、筑前国主の御先祖の城跡」、「多田の城が攻められたときに、姫路へ脱出した若君が後の黒田家の太祖(※官兵衛)である」など、当時の黒田村の伝承が村の見取図とともに記録されている。

■荘厳寺本黒田家略系図（荘厳寺蔵）

文化６年(1809年)ごろに荘厳寺に奉納された系図で、黒田氏の発生から滅亡までの歴代が記されたもの

◆黒田氏は多可郡黒田村の発生で、代々黒田城の城主を継ぎ、官兵衛が小寺職隆の猶子（ゆうし）(※養子)となって姫路城を守ったと記されている。

黒田官兵衛ってどんな人だったの!?

黒田官兵衛は、天文15年（1546年）に生まれ、播磨の地で育ちました。

官兵衛は、若いころから熱心に和歌や文学を学ぶなど高い教養を身につけ、22歳の時には、小寺氏に仕官していた父・職隆から家老職を継いで姫路城代（※城主に代わって城を管理する者）となり、その後、織田信長や豊臣秀吉に仕えることになります。

特に、官兵衛は秀吉の参謀として大きな役割を果たしました。天正10年（1582年）、秀吉が毛利氏と対峙し、備中高松城（岡山市）を攻め込んでいたさなか、「本能寺の変」が起こり、秀吉は主君・信長の死を知り泣き崩れます。しかし、この時官兵衛は、速やかに京都へ向かい明智光秀を討ちとるべきだと秀吉に進言し、世に言う「中国大返し」が成功。秀吉は光秀を滅ぼし、天下統一に大きく近づくこととなります。

これ以外にも、さまざまな計略や諸大名との交渉に活躍するなど、官兵衛は秀吉の天下取りに大きく貢献したのです。

秀吉の天下統一が目前となった天正17年（1589年）には、息子の長政に家督を譲り隠居の身となり、「如水」と名を改めますが、その後も、秀吉の側近として小田原攻めなどで功績を立てます。

秀吉が慶長3年（1598年）に亡くなり、天下分け目の戦いとなった慶長5年（1600年）の「関ヶ原の戦い」では、徳川家康率いる東軍が勝利を収めると、その活躍により長政は家康から福岡52万石を与えられました。その際に、官兵衛も福岡に移り晩年を過ごしましたが、慶長9年（1604年）、京都伏見でその生涯を閉じたのです。

官兵衛は、稀代の軍師と呼ぶにふさわしい活躍を見せる一方で、名誉や利益を好まず、倹約を旨とした人物でもあり、その生きざまは多くの人々の心をとらえています。

合子形兜（ごうすがたかぶと）・黒糸威胴丸具足（くろいとおどしどうまるぐそく）／福岡市博物館蔵
「撮影者　藤本健八」

「北播磨黒田官兵衛生誕地の会」誕生

黒田官兵衛ゆかりの地元・黒田庄地区で「北播磨黒田官兵衛生誕地の会」が設立されました。

4月28日に開かれた設立総会には、地元黒田集落を中心に50人余りの市民が出席し、会則や事業計画、予算などが承認されました。

「生誕地の会」では「官兵衛さんは黒田生まれ」ということを多くの方に知っていただき、魅力をアピールしていきたいと、講演会や官兵衛まつりの開催などさまざまな活動を計画されています。

森脇昇太郎会長は、「“我人に媚びず、富貴を望まず”という官兵衛さんの言葉は、人柄を良く表している。こんな官兵衛さんがこの土地に生まれたことを誇りに思い、まず地元が頑張って、官兵衛さんを盛り上げましょう。」と呼び掛けられました。

（14ページに関連記事を掲載）

「北播磨黒田官兵衛生誕地の会」会員募集

生誕地の会では、官兵衛の魅力を広く発信するために、さまざまなな活動を展開していきます。現在、会員を募集していますので、ぜひ会の趣旨に賛同いただき、多くの方のご入会をお待ちしています。

- 個人会員　年1口1,000円（複数口可）
- 団体会員　年1口5,000円（複数口可）

◆申込み・問合せ
北播磨黒田官兵衛生誕地の会
コミュニティセンター黒田庄地区会館（黒っこプラザ）内
☎28－2121／FAX28－3983

黒田官兵衛生誕地で講演会を開催

黒田美江子氏が語る「黒田官兵衛の魅力」

- 主　催　北播磨黒田官兵衛生誕地の会
- 講　師　黒田美江子氏（姫路市在住。歴史研究家・播磨の黒田武士顕彰会顧問。姫路市文化財団評議員）
- と　き　6月30日（日）午後1時30分～3時30分（午後1時から受付）
- ところ　黒田庄中学校体育館
- 入場料　無料
- その他　北はりま第九合唱団・ゆめコーラス・サンパルエコー・らららコーラス各有志の方々によるオリジナル曲「黒田官兵衛」、「黒田城」の披露もあります。

◆問合せ
北播磨黒田官兵衛生誕地の会
☎28－2121／FAX28－3983

防災マップを作成しました
“まさか”の自然災害に備えよう

郷瀬ポンプ場設備。内水対策として整備を進め、5月24日に竣工

局地的豪雨や台風、また4月に発生した淡路島での地震など、自然災害は思いがけず発生します。そこで、災害を最小限に防いだり、自分や家族の安全を守ったりするためには、日ごろからの備えが重要となります。6月に入りいよいよ本格的な梅雨を迎えます。家の内外の点検、非常持出し品の確認、避難所の場所、避難所までのルート、家族との連絡方法などを家庭で話し合い、災害に備えておきましょう。また、日ごろから気象情報に関心を持ち、確認しておくことも大切です。

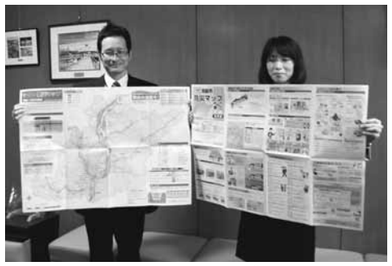
市では地震編と洪水・土砂災害編の2種類の防災マップを作成しました。それぞれのマップには情報面を設け、地震や洪水・土砂災害の対策に役立つ情報を記載しています。市内全戸に配布しますのでご活用ください。

○洪水・土砂災害編

平成17年に旧西脇市と旧黒田庄町でそれぞれ作成していましたが、その後、浸水想定区域の変更や、土砂災害警戒区域の変更等が行われたため、最新の情報を盛り込み更新しました。

○地震編

今回初めて作成しました。西脇市に大きな被害をもたらすといわれている「御所谷（ごしょだに）断層帯」の震度分布図を色分けして掲載しています。



作成した2種類の防災マップ

■問合せ　防災対策課（市役所内線365）

地図面の活用法

地震編では、震度分布を色分けして示しています。また、洪水・土砂災害編では、浸水想定区域を浸水の深さ別に色分けして示し、山地では土砂災害のおそれがある個所を種類別に表示しています。両マップとも避難所（地震13ヵ所、水害8ヵ所）や主要な道路、公共施設も表示しています。

それぞれの地図で自宅を探し、震度の想定、浸水の深さや土砂災害等の影響を把握し地図上で災害時をイメージしましょう。その上で、最寄の避難所、避難所への安全なルート等を確認してください。

情報面の活用法

地震13ヵ所、水害8ヵ所の避難所を指定しています。表紙の「最寄の避難所」欄は自宅から一番近い避難所を、「我が家の連絡先」欄には家族の連絡先等を記入し、いつでも確認できるよう大切に保管してください。非常時の持出し品リストも掲載していますので、持出し品をそろえる際にお役立てください。

また、地震編には市周辺の活断層の状況や想定被害、地震発生時の行動、洪水・土砂災害編には雨量・水位観測所や避難情報等の伝達方法も掲載しています。

※ホームページにも掲載

災害時協力井戸の登録募集

市では、地震等の災害発生時に井戸水を飲用水や生活用水として提供していただける方を募集しています。

大規模災害が発生した際には、長期間にわたり飲用水や生活用水が確保できないなど、不便な生活が予想されます。これらを確保するため、個人や事業所が所有する井戸を災害時協力井戸として登録し、災害時に地域住民に井戸水を提供していただこうとするものです。登録方法など詳細は防災対策課までお願いします（ホームページにも掲載）。

■問合せ　防災対策課（市役所内線365）

6月は「土砂災害防止月間」

「みんなで防ごう土砂災害」

近年、土石流、地すべり、がけ崩れ等の土砂災害による被害が多発しています。土砂災害防止に対する理解と関心を深め、防災知識の普及、警戒態勢整備の促進を推進するため「土砂災害防止月間」が実施されます。この機に身の周りの危険個所を点検しましょう。